

# 第2四半期決算説明会

(2009年4月1日～9月30日)

**LECIP** レシップ株式会社

▶ **1. 2010年3月期 上期業績の概要と、主な項目の進捗状況**

■ **2. 2010年3月期 通期業績の見通し・配当の状況**

■ **3. 中長期的な成長に向けた方向性**

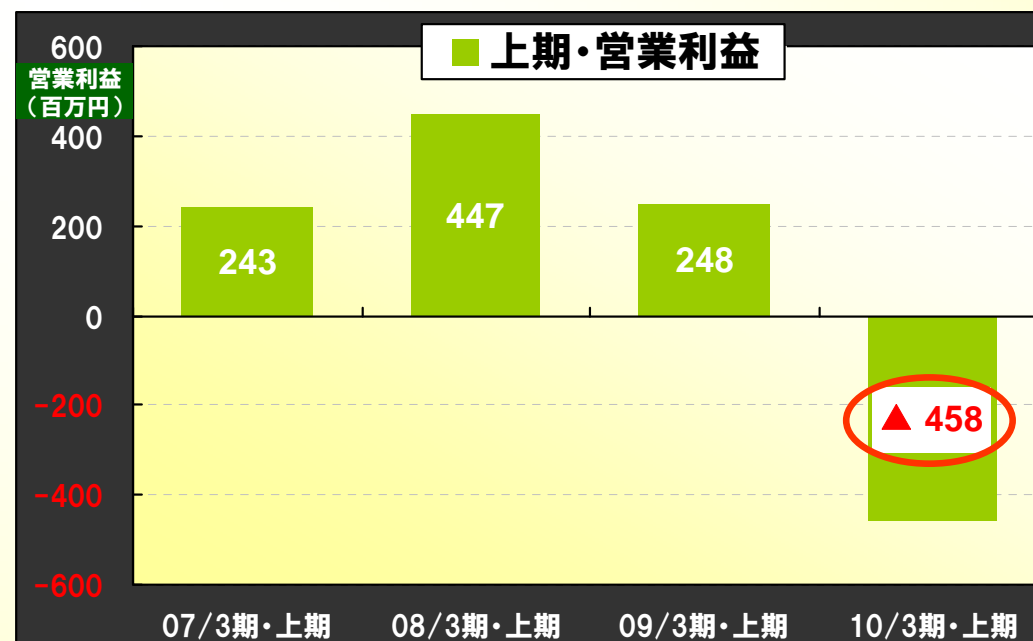
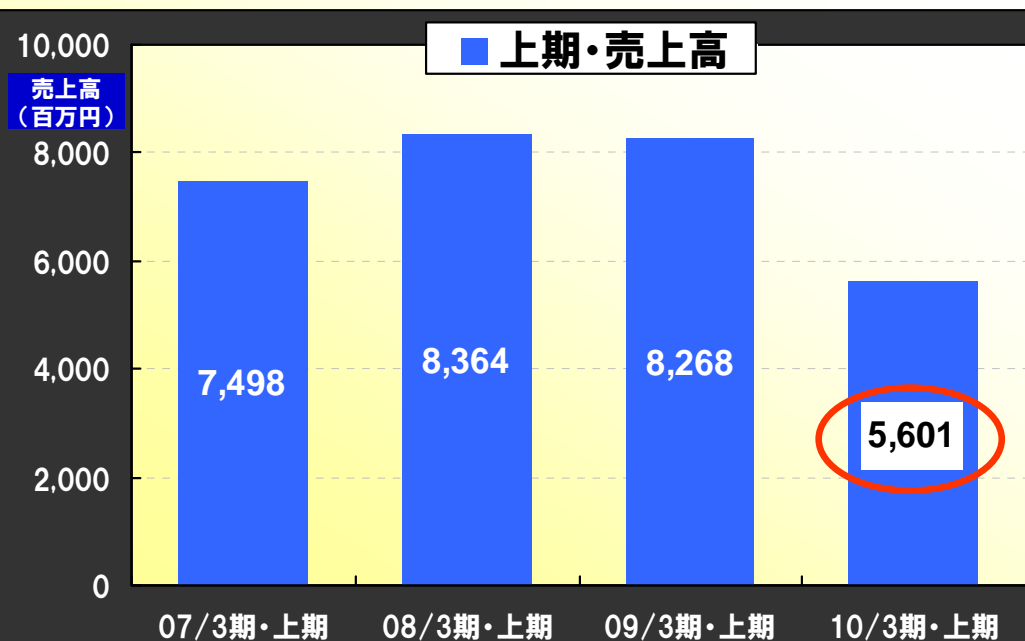
■ **【ご参考資料】**

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期ごとの業績推移

# 2010年3月期 上期 連結業績の要約



【連結】 上期業績 (単位:百万円)	2009年3月期・上期		2010年3月期・上期					
	① 前期実績	構成比	② (09年5月) 当初発表 業績予想	③ (09年8月) 修正発表 業績予想	④ 当期実績	構成比	前期比 増減額 ④-①	前期比 増減率
売上高	8,268	100.0%	6,600	5,650	<b>5,601</b>	100.0%	▲2,666	▲32.3%
売上総利益	1,801	21.8%	—	—	<b>904</b>	16.1%	▲897	▲49.8%
営業利益	248	3.0%	▲140	▲520	<b>▲458</b>	▲8.2%	▲707	—
経常利益	272	3.3%	▲110	▲495	<b>▲450</b>	▲8.0%	▲722	—
上期純利益	138	1.7%	▲85	▲425	<b>▲374</b>	▲6.7%	▲512	—



# 2010年3月期 上期 セグメント別業績

売上高 (単位:百万円)	2009年3月期・上期		2010年3月期・上期			
	前期実績	構成比	当期実績	構成比	増減額	増減率
輸送機器事業	5,744	69.5%	3,772	67.4%	▲1,971	▲34.3%
S&D事業	632	7.6%	511	9.1%	▲120	▲19.1%
産業機器事業	1,891	22.9%	1,317	23.5%	▲574	▲30.4%
連結売上高	8,268	100.0%	5,601	100.0%	▲2,666	▲32.3%

営業利益 (単位:百万円)	2009年3月期・上期		2010年3月期・上期			
	前期実績	構成比	当期実績	構成比	増減額	増減率
輸送機器事業	549	192.6%	▲199	47.3%	▲748	
S&D事業	▲202	▲71.0%	▲128	30.4%	+74	赤字幅改善
産業機器事業	▲61	▲21.6%	▲94	22.3%	▲32	-
計	285	100.0%	▲422	100.0%	▲707	-
消去・全社	(36)	-	(35)	-	+1	-
連結営業利益	248	-	▲458	-	▲707	-

## 上期業績のポイント

前年同期比: 減収  減益 

- ▶ 輸送機器事業と、産業機器事業のマイナス幅大きく、減収減益の要因に。
- ▶ S&D事業は、売上高減少するも、赤字幅縮小。

### マイナス要因

#### 輸送機器事業

- バス用運賃箱やOBCの販売は堅調に推移したものの、ICカードシステムが、納入の端境期となり、減少。
- 景気後退の影響により、トラック用蛍光灯具の販売が落ち込む。

#### 産業機器事業

- バッテリー式フォークリフト用充電器や、プリント基板実装事業(レシップ電子)などの需要低迷。

### プラス要因

#### S&D事業

- ネオン変圧器の減少続くも、原材料価格は、前年上期に比べ、低い水準で推移。
- 不採算が続いていた米国向けネオン変圧器販売事業からの撤退、タイ国の生産子会社THAI LECIPの清算を決定するなど再編を進める。
- LED電源の拡販を進め、成長が期待される分野へのシフトを加速。

## ▶ 輸送機器事業：上期：売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 ▲ 19億71百万円 ▲ 34.3%  
■ 営業利益 : 前期比 ▲ 7億48百万円 — %

### バス市場製品売上高

前期比: ▲ 17億68百万円 (▲ 36.6%)  
 ▶ バス用ICカードシステムが、大口物件の一巡や、納入の端境期となり、減少  
 ▶ バス用運賃箱や、OBCの販売は前年実績を上回り、堅調推移



### 鉄道市場製品売上高

前期比: ▲ 27百万円 (▲ 5.6%)  
 ▶ 蛍光灯は、前年実績を上回るも、ワンマン機器関連が減少



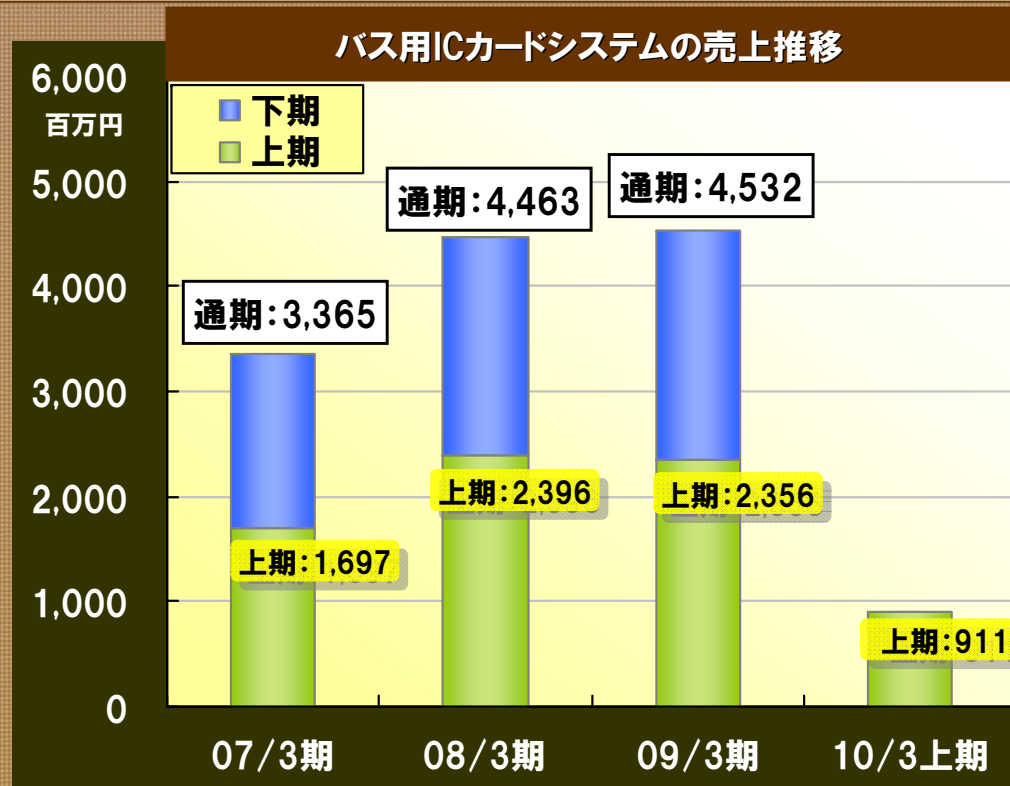
### 自動車市場製品売上高

前期比: ▲ 1億75百万円 (▲ 41.8%)  
 ▶ トラック用蛍光灯具が、景気低迷の影響により、減少





## バス用ICカードシステムの全国展開

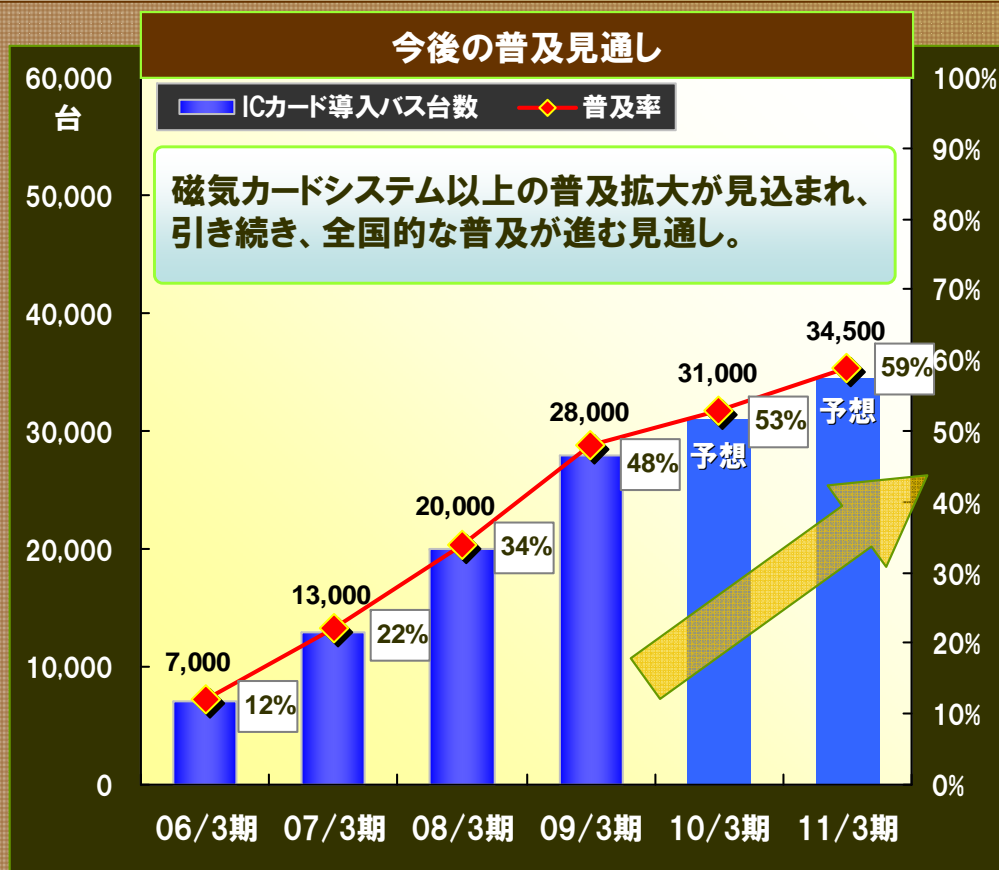
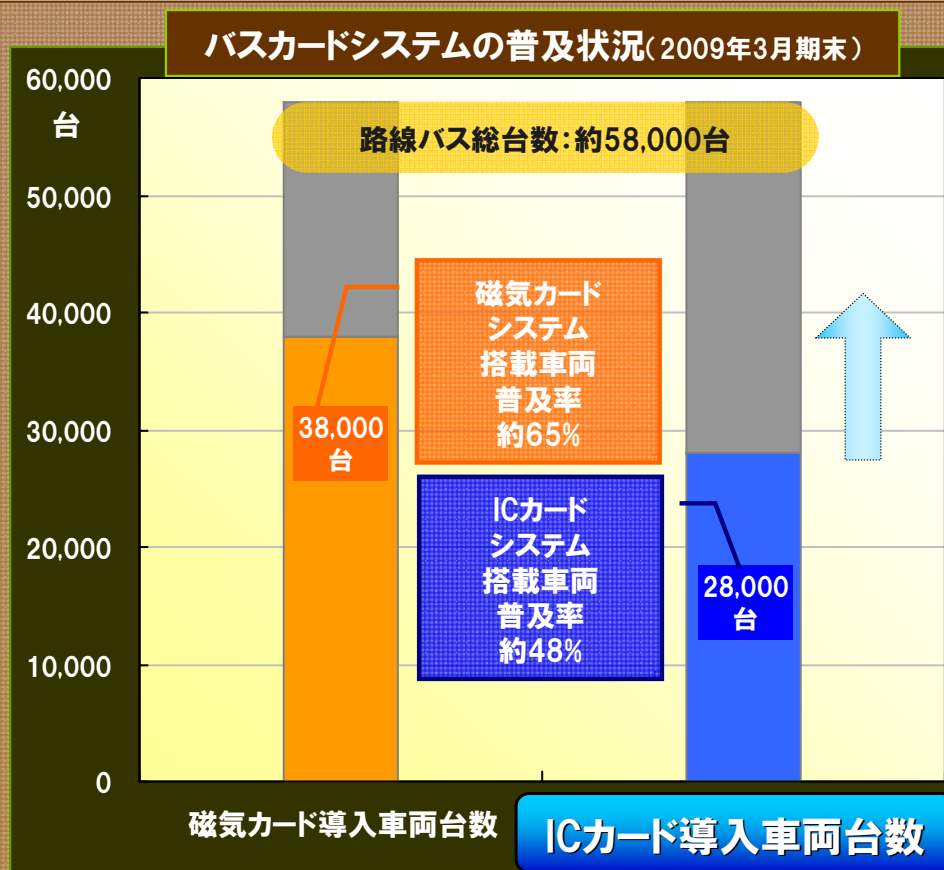


ICカード対応運賃箱 / ICカードリーダー・ライタ



- 首都圏や福岡地区向けの大口物件の納入は、前期で、ほぼ一巡  
 ➡ 今期は、名古屋地区などへの納入を進める
- 今期は、納入の端境期にあたることも影響して、減少
- 引き続き、全国的な拡販を推進  
 ➡ 全国的には、普及途上。これまでの実績を追い風に、全国展開を進める

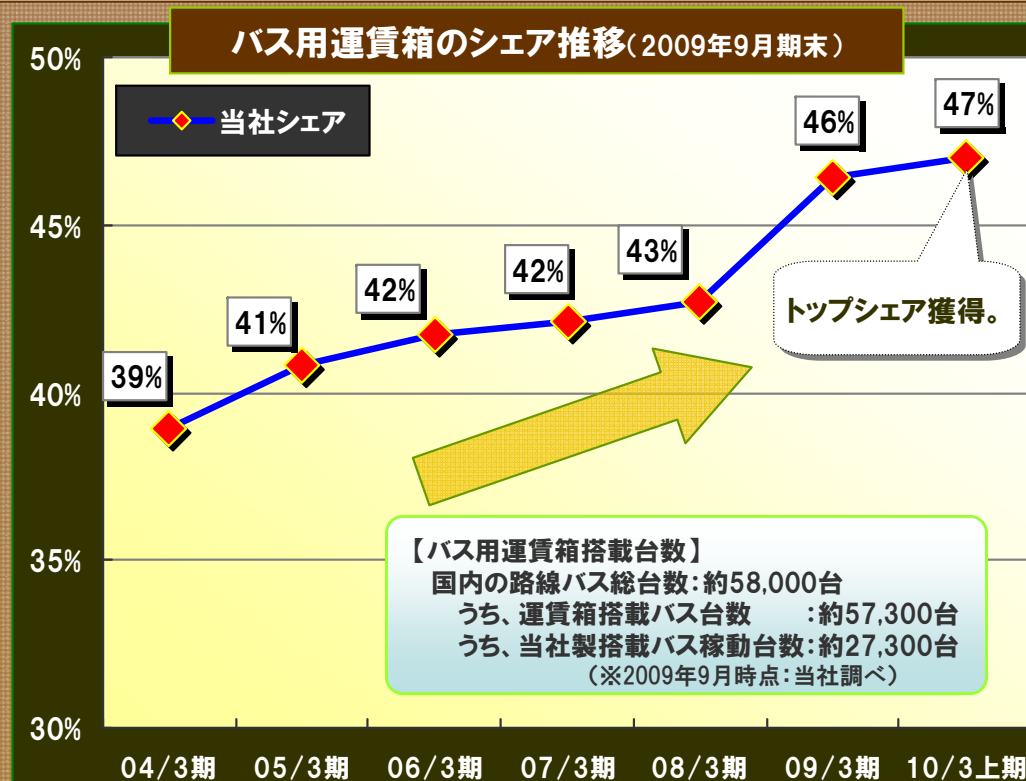
## バス用ICカードシステムの普及見通し



- 国内の路線バスの台数：約58,000台  
うち、従来型の磁気カード式運賃精算システム導入車両台数：約38,000台・普及率約65%
- 現状、ICカードシステムの普及台数：約28,000台・普及率約48% (09/3期)
- 今後、首都圏以外の地域への普及拡大により、普及率は、70%程度まで進むと予想

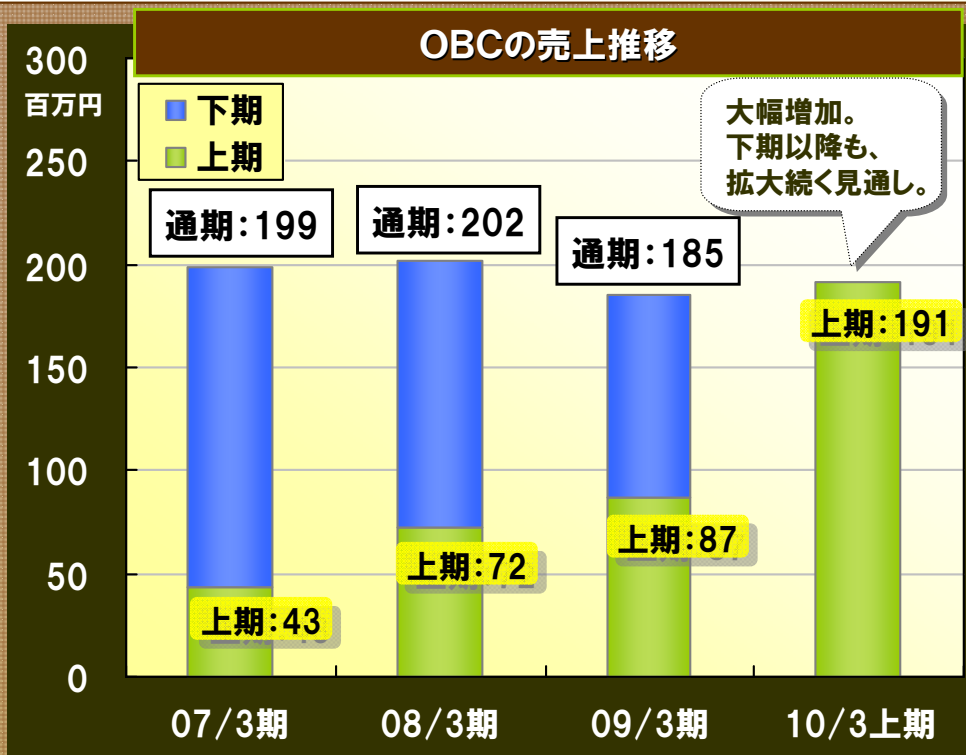


## バス用運賃箱のシェアアップ



- **バス用運賃箱のシェア拡大続く。今期の上期にシェア逆転し、初めて、トップシェア獲得**  
 ➡ 下期に入ってから、更なる拡大を見込む
- **運賃箱の薄型化と、高額紙幣への対応を実現**  
 ➡ バリアフリー、省エネに貢献：従来の機能はそのままに、20%以上の薄型・軽量化を実現  
 乗客の利便性向上：1万円札、5千円札の高額紙幣両替、ICカードへの積増入金も可能に
- **得意とするICカードシステムの普及拡大も追い風**  
 ➡ ICカードシステム導入の際、当社のICカード対応運賃箱が採用される

## OBC(液晶表示器)の拡販推進



### ● 乗客の利便性向上

➡ 運賃、路線情報、運行案内、ニュース、CM等、様々なコンテンツの液晶表示が可能に

### ● バス会社の業務効率化

➡ バス車載機器のデータ(運賃データ、表示データ等)を一元管理、集中制御

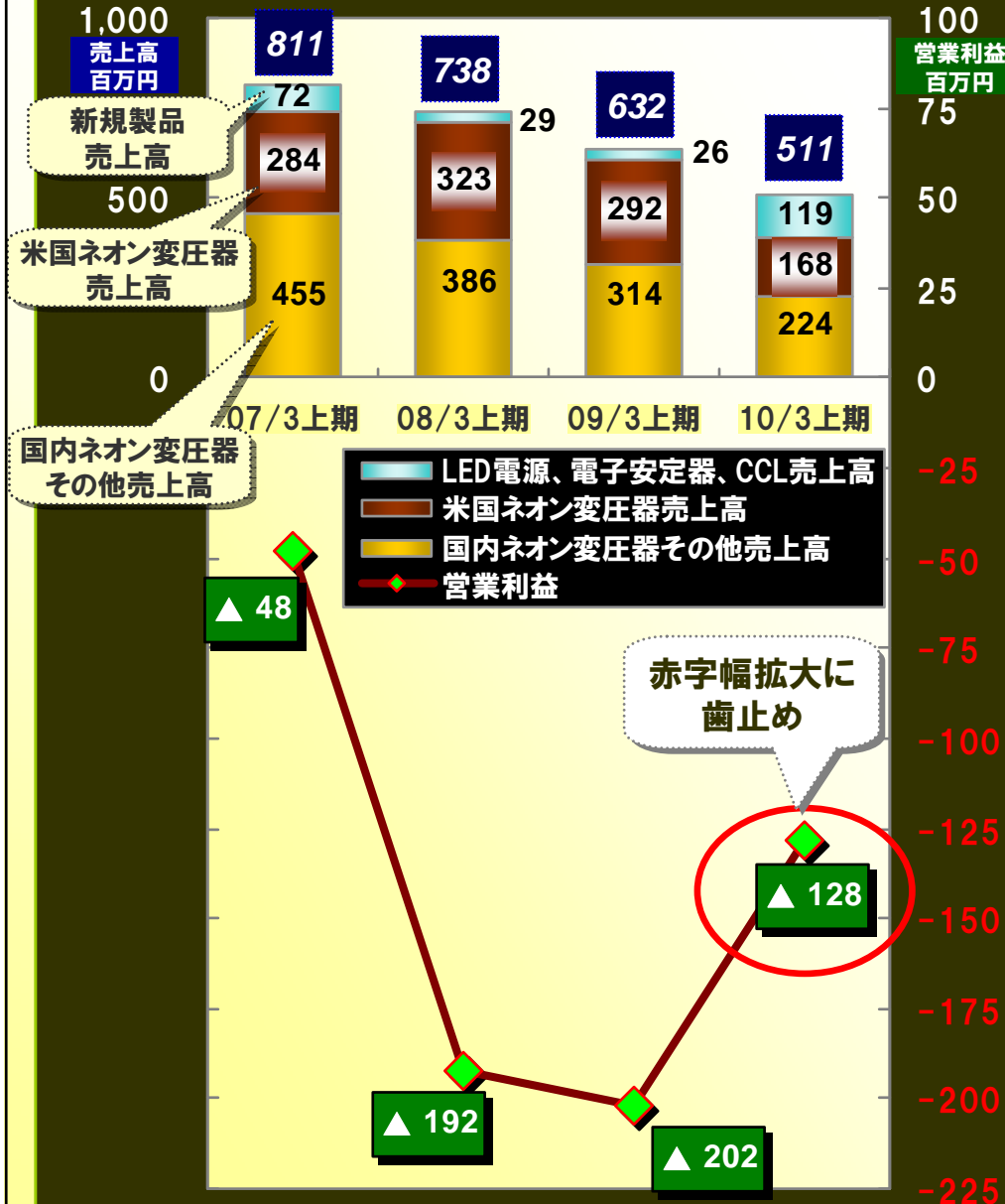
### ● 「リアルタイム乗客情報システム」の開発推進

➡ 表示器のネットワーク化を図ることで、あらゆる情報のリアルタイム配信が可能に



運賃・停留所表示のほか、運行案内や、ニュース、CMなど多彩な情報配信が可能。

## ▶ S&D事業:上期:売上高・営業利益の推移



売上高 : 前期比 ▲ 1億20百万円 ▲ 19.1%  
 営業利益 : 前期比 + 74百万円 -

### 国内ネオン変圧器・小型変圧器・その他

前期比: ▲ 90百万円 (▲ 28.7%)

▶ 国内ネオンサイン市場の需要低迷



### 米国ネオン変圧器

前期比: ▲ 1億23百万円 (▲ 42.2%)

▶ 米国ネオン変圧器販売事業から撤退



### LED電源、屋外用電子安定器、CCLの拡販

前期比: + 92百万円 (+352.2%)

▶ LED電源が大きく拡大 (前期比: +85百万円)

→ 蛍光灯型LED灯具向けへの採用決定により、下期以降、更なる拡大を見込む。



### 外部環境の改善

▶ 前年上期の高騰時に比べ、低い水準で推移

- ・銅価格の下落 : 前年同期比: 約35%下落
- ・鉄価格の下落 : 前年同期比: 約34%下落
- ・タイ・パーツの下落: (円 建): 前年同期比: 約17%下落  
(ドル建): 前年同期比: 約10%下落



## 海外事業戦略の再構築 ～ネオン変圧器ビジネスを再編～

米国向けネオン変圧器が、S&D事業の利益を圧迫。今後もネオンサイン市場の縮小が予想される。

### ■ 不採算事業の再編

#### ▶ 米国のネオン変圧器販売事業から撤退

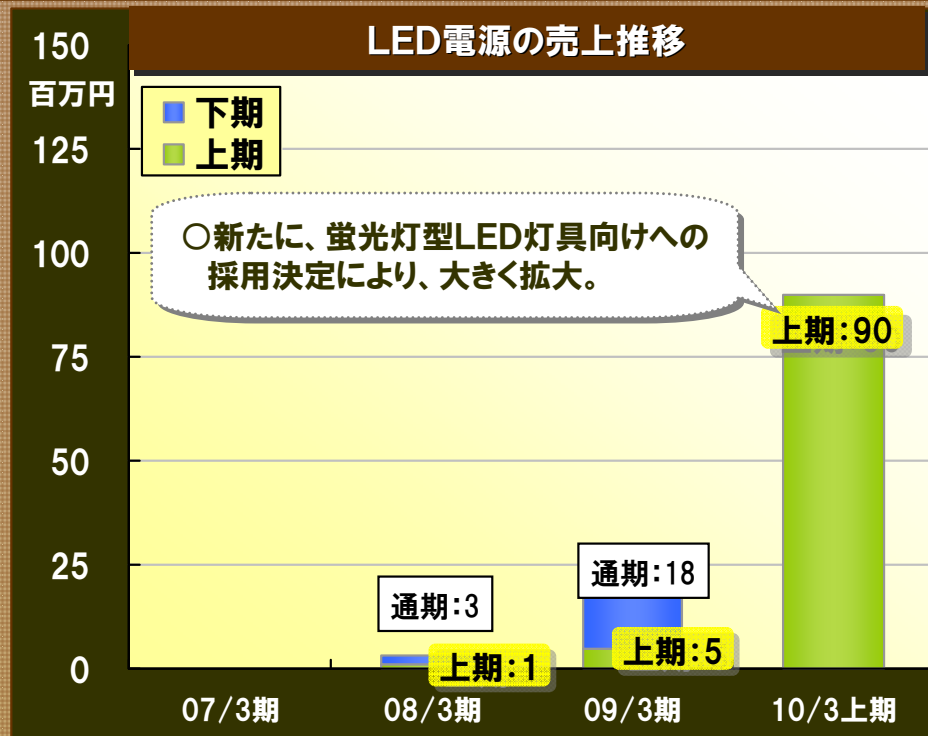
- 米国におけるネオン変圧器の販売事業を、Allanson Inc.(本社：米国・NY、事業内容：ネオン変圧器・燃焼器具用変圧器等の製造・販売)へ譲渡  
当社の販売は、日本国内向けに特化
- 当社の米国販売子会社 LECIP U.S.A.,INC.は、存続  
今後、米国市場の開拓を進める輸送機器事業製品の販売拠点となる

#### ▶ タイ国の生産子会社 THAI LECIPの清算

- タイ国におけるネオン変圧器等の生産子会社 THAI LECIP CORPORATION LIMITEDを、本年9月に閉鎖 ⇒ 会社清算準備を進める(清算終了予定：2011年9月末)
- 工場閉鎖に係る費用として、上期に、84百万円を損失計上  
(売上原価に影響：棚卸資産評価減：34百万円、特損：固定資産減損損失：19百万円、特損：現地従業員特別退職金：30百万円)

▶ LED電源などの成長が期待される分野に経営資源を特化。

## LED電源の拡販推進



- 省エネ法改正も追い風となり、「省エネ・環境対応」への意識高まる

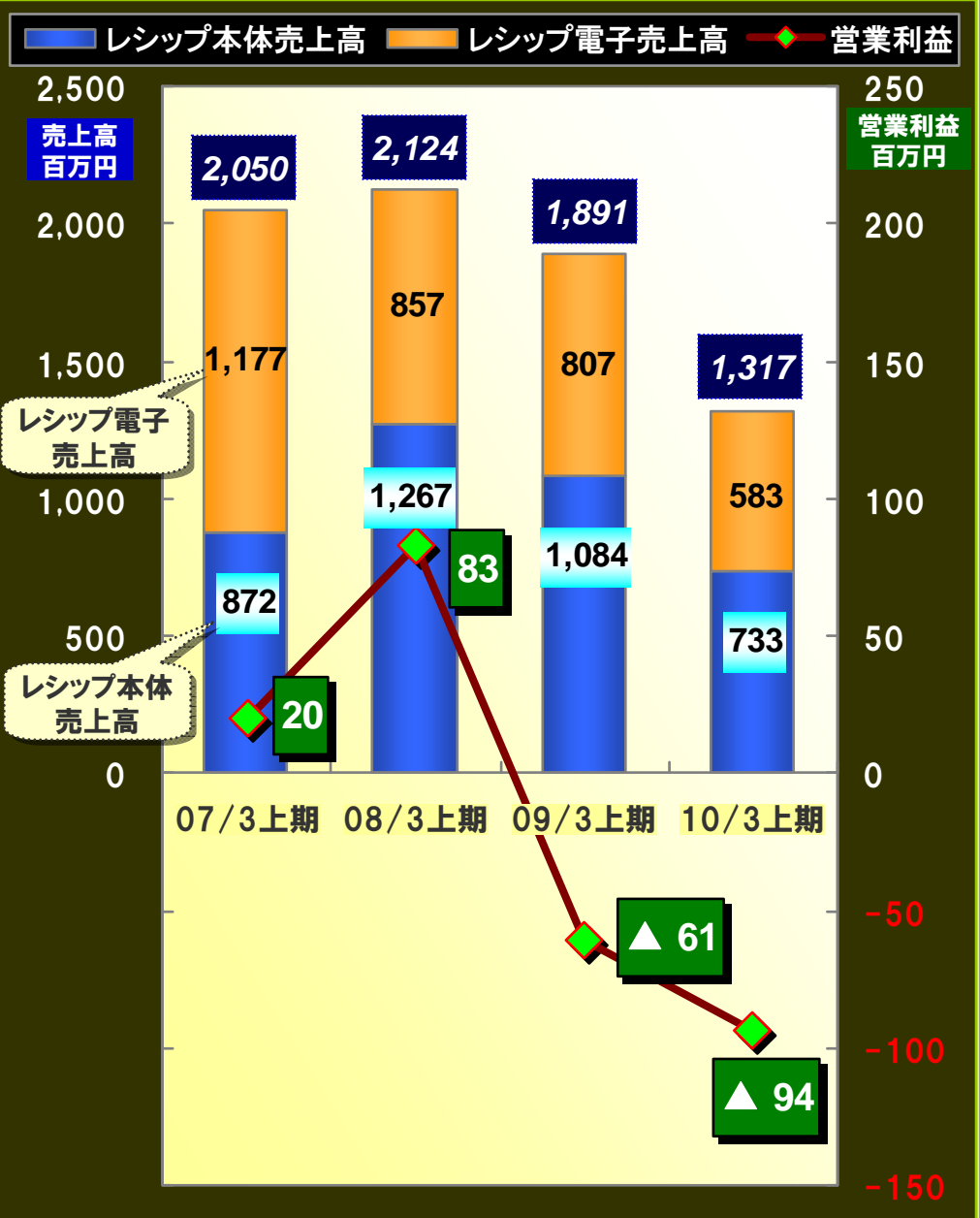
➡ サインや照明分野で、LEDの導入増加に伴い、電源の需要も増勢

- コンビニ店舗のLED看板に続き、店舗やオフィス照明として普及が進む  
蛍光灯型LED灯具向けの採用決定 ➡ 下期以降、更なる拡大が見込まれる

- 引き続き、S&D事業の新規基幹商品として、拡販注力



## ▶ 産業機器事業：上期：売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 ▲ 5億74百万円 ▲30.4%  
■ 営業利益 : 前期比 ▲ 32百万円 —

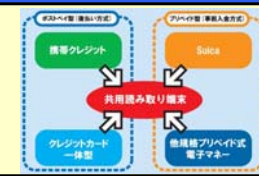
### フォークリフト用充電器、無停電電源装置

前期比: ▲ 2億64百万円(▲38.7%)  
 ▶ 景気後退に伴う設備投資抑制の影響  
 ▶ フォークリフト用充電器 (前期比: ▲ 2億35百万円)  
 ▶ CATV基地局・PHS基地局用無停電電源装置 (前期比: ▲ 28百万円)



### 物販共用読み取り端末

前期比: ▲ 91百万円(▲70.6%)  
 ▶ 流通業界における新規出店の手控え続く

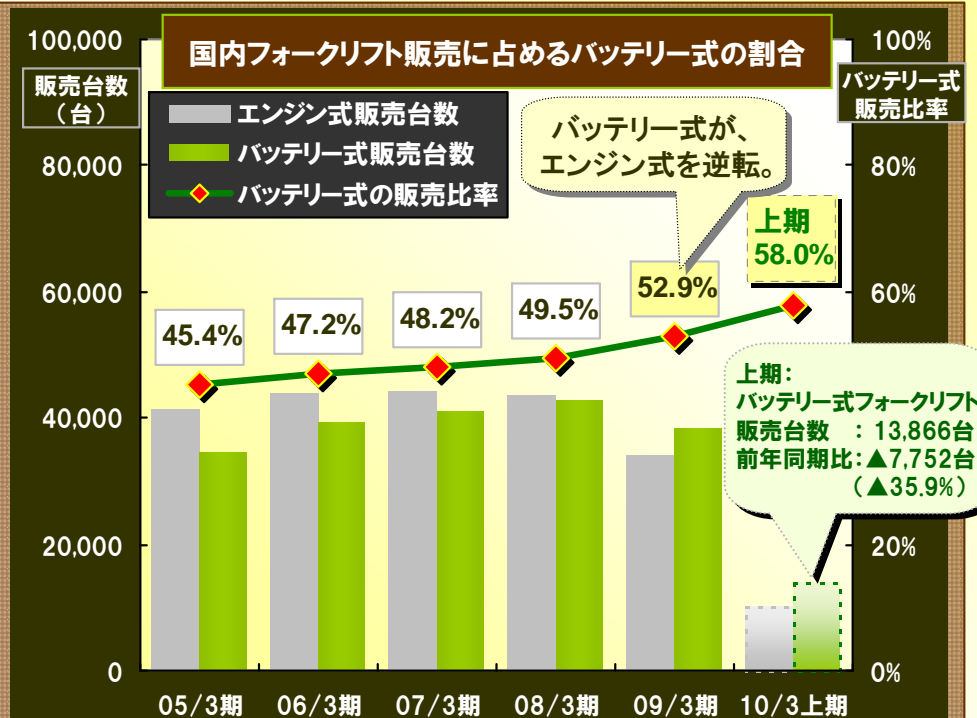
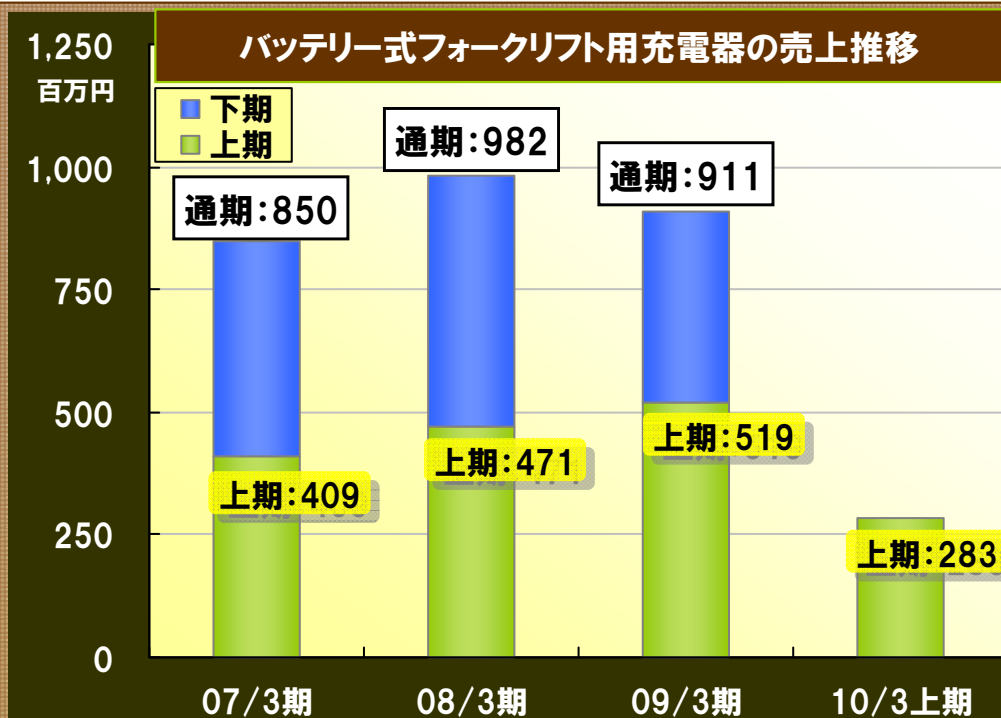


### レシップ電子・プリント基板実装

前期比: ▲ 2億23百万円(▲27.7%)  
 ▶ 自動車用電装品向け基板 (前期比: ▲1億24百万円)  
 ▶ 電子機器向け基板 (前期比: ▲ 99百万円)



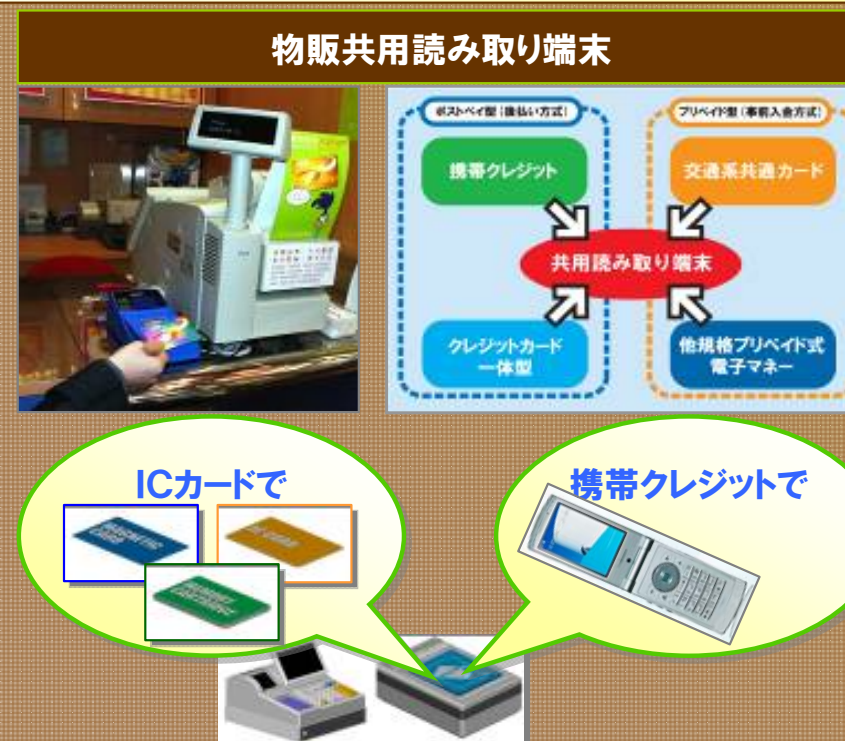
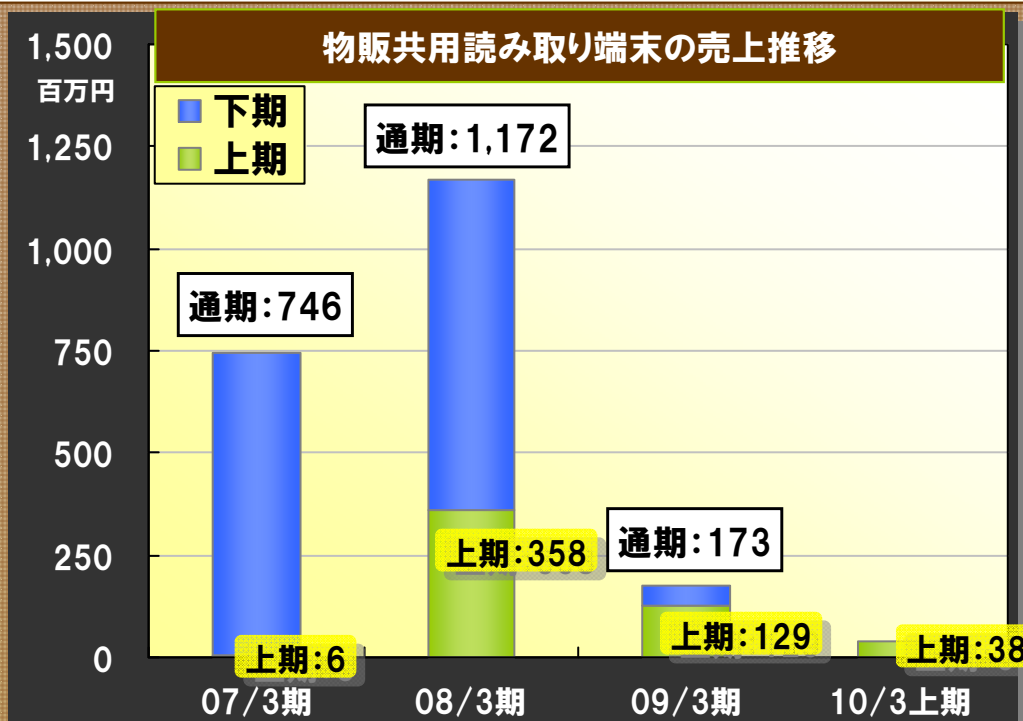
## バッテリー式フォークリフト用充電器



- 当社は、バッテリー式フォークリフト用充電器で、国内トップシェアを獲得（09/3期シェア：58.8%）
- 環境への対応から、フォークリフト業界でも、バッテリー式の販売比率高まる
- 今期は、景気後退に伴う産業用車両減産の影響により、販売低迷
- 今後も、バッテリー式の販売比率が高まる見通し  
➡ 次世代電池対応に向けた開発推進



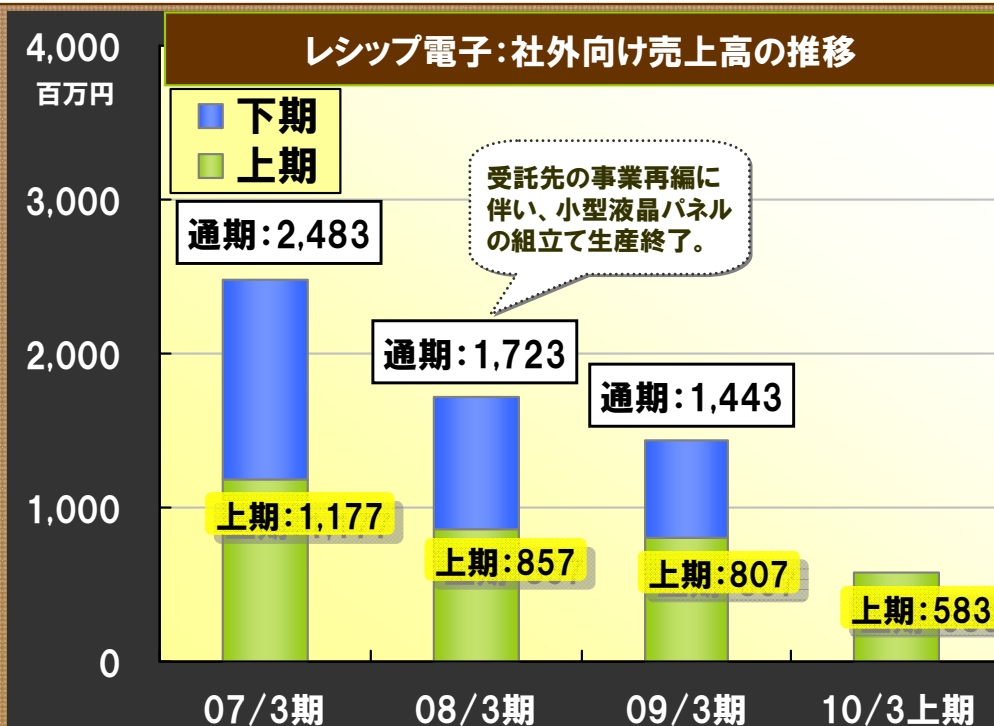
## 物販共用読み取り端末ビジネスへの取り組み



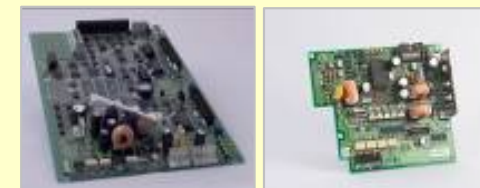
- 電子決済サービスの拡大とともに、共用読み取り端末のニーズ高まる
- これまでの交通系ICカードシステム、香港への納入実績  
 ➡ Suica電子マネーを軸とする複数規格電子マネー・共用読み取り端末の開発・製造パートナーに
- 前期に引き続き、今期も、流通業界における新規出店の手控えなどが影響し、低迷
- 今後も、電子決済サービスの普及が予想されることから、引き続き、売上確保に努めていく



## レシップ電子・プリント基板実装事業の強化



- 電子制御化進む自動車用電装品向け基板実装の需要に対応
- 景気後退の影響により、数量拡大厳しいものの、工数低減に努め、採算面の向上に注力



- 売上高の減少続くも、グループ内では重要な位置づけ

➡ 自社グループ内に基板実装ラインを有していることで、当社製品に使用される基板を安定的に調達できる強み  
顧客の仕様にも柔軟かつスピーディに対応可能であり、高い信頼とご評価をいただく

# 上期 連結損益の状況

【連結P/L】	09年3月期:上期		2010年3月期:上期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	8,268	100.0	5,601	100.0	▲2,666	
売上総利益	1,801	21.8	904	16.1	▲897	
販売管理費	1,552	18.8	1,362	24.3	▲190	人件費:▲51百万円、運送費:▲32百万円、 広告宣伝費:▲14百万円、事務用経費:▲13百万円
営業利益	248	3.0	▲458	▲8.2	▲707	
営業外収益	44	0.5	39	0.7	▲4	
営業外費用	20	0.3	31	0.6	+10	為替差損:+13百万円
経常利益	272	3.3	▲450	▲8.0	▲722	
特別利益	22	0.3	4	0.1	▲17	
特別損失	41	0.5	58	1.0	+16	棚卸資産評価損:▲27百万円、固定資産の減損損失: +19百万円、特別退職金:+30百万円
税金等調整前純利益	253	3.1	▲503	▲9.0	▲756	
法人税等	107	1.3	8	0.1	▲99	
法人税等調整額	7	0.1	▲137	▲2.5	▲145	欠損金が生じたことによる
上期純利益	138	1.7	▲374	3.1	▲512	



# 上期 連結貸借対照表の主な増減項目

【連結B/S】	2009年3月期 期 末		2010年3月期 上 期 末			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	7,904	75.9	6,686	73.0	▲1,217	売上債権 :▲ 845百万円、 現預金 :▲ 422百万円
固定資産	2,513	24.1	2,471	27.0	▲41	
■ 資産合計	10,417	100.0	9,158	100.0	▲1,259	
流動負債	4,281	41.1	3,291	35.9	▲989	仕入債務 :▲ 609百万円、 未払法人税等:▲ 379百万円
固定負債	796	7.7	988	10.8	+191	長期借入金 :+ 184百万円
■ 負債合計	5,078	48.8	4,280	46.7	▲798	
■ 純資産合計	5,339	51.2	4,878	53.3	▲460	利益剰余金 :▲ 483百万円
■ 負債・純資産合計	10,417	100.0	9,158	100.0	▲1,259	

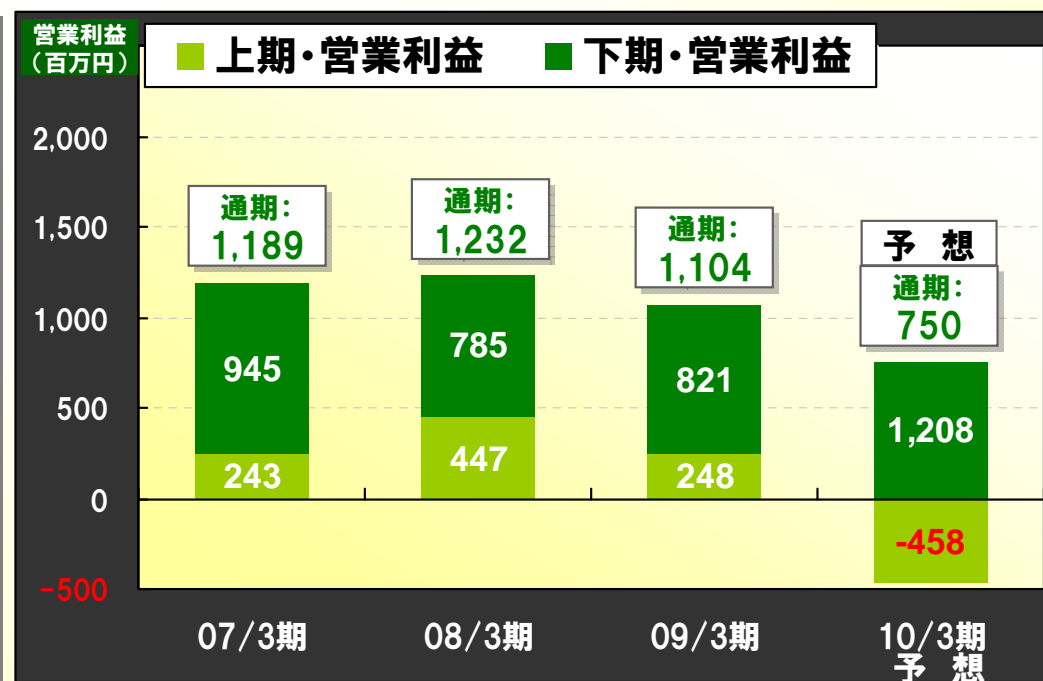
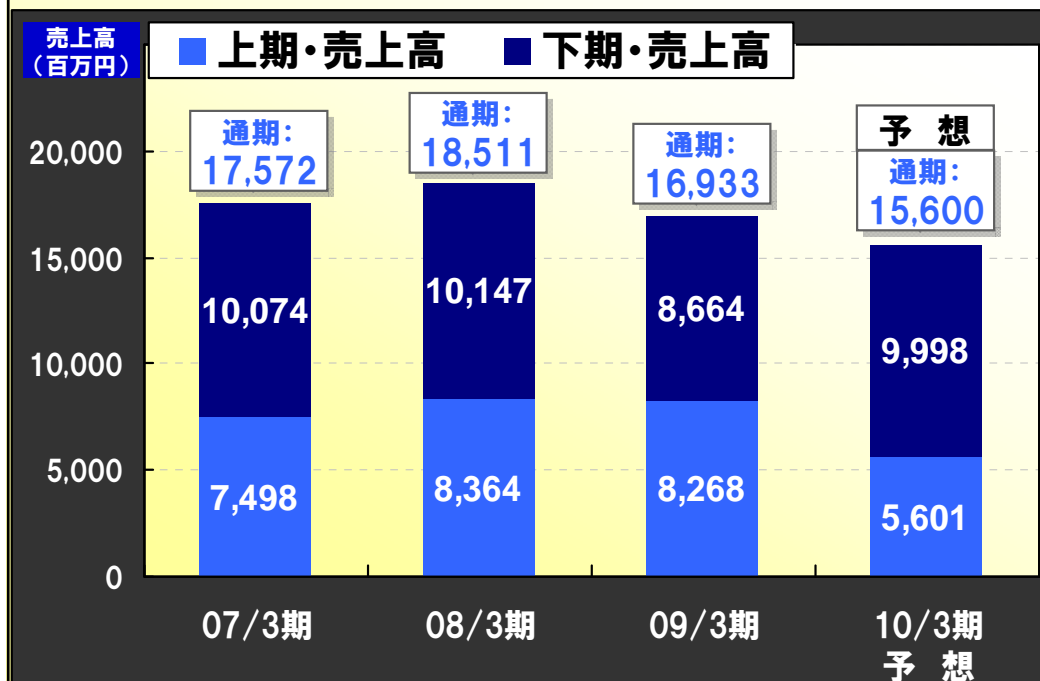
- 1. 2010年3月期 上期業績の概要と、主な項目の進捗状況
- ▶ 2. 2010年3月期 通期業績の見通し・配当の状況
- 3. 中長期的な成長に向けた方向性

## ■ 【ご参考資料】

- 当社の会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期ごとの業績推移

# 2010年3月期 通期の業績見通し

連結業績予想	2009年3月期 実績 (百万円)		構成比 (%)	2010年3月期 業績予想 (百万円)		構成比 (%)	前期比 増減額 (百万円)		前期比 増減率 (%)	
	売上高	営業利益		経常利益	当期純利益		E P S (円)	売上高	営業利益	経常利益
売上高	16,933	100.0%	100.0%	15,600	100.0%	100.0%	▲1,333	▲7.9%	▲7.9%	▲7.9%
営業利益	1,070	6.3%	6.3%	750	4.8%	4.8%	▲320	▲29.9%	▲29.9%	▲29.9%
経常利益	1,104	6.5%	6.5%	820	5.3%	5.3%	▲284	▲25.8%	▲25.8%	▲25.8%
当期純利益	521	3.1%	3.1%	350	2.2%	2.2%	▲171	▲32.9%	▲32.9%	▲32.9%
E P S (円)	81円61銭	—	—	54円77銭	—	—	▲26円84銭	▲32.9%	▲32.9%	▲32.9%






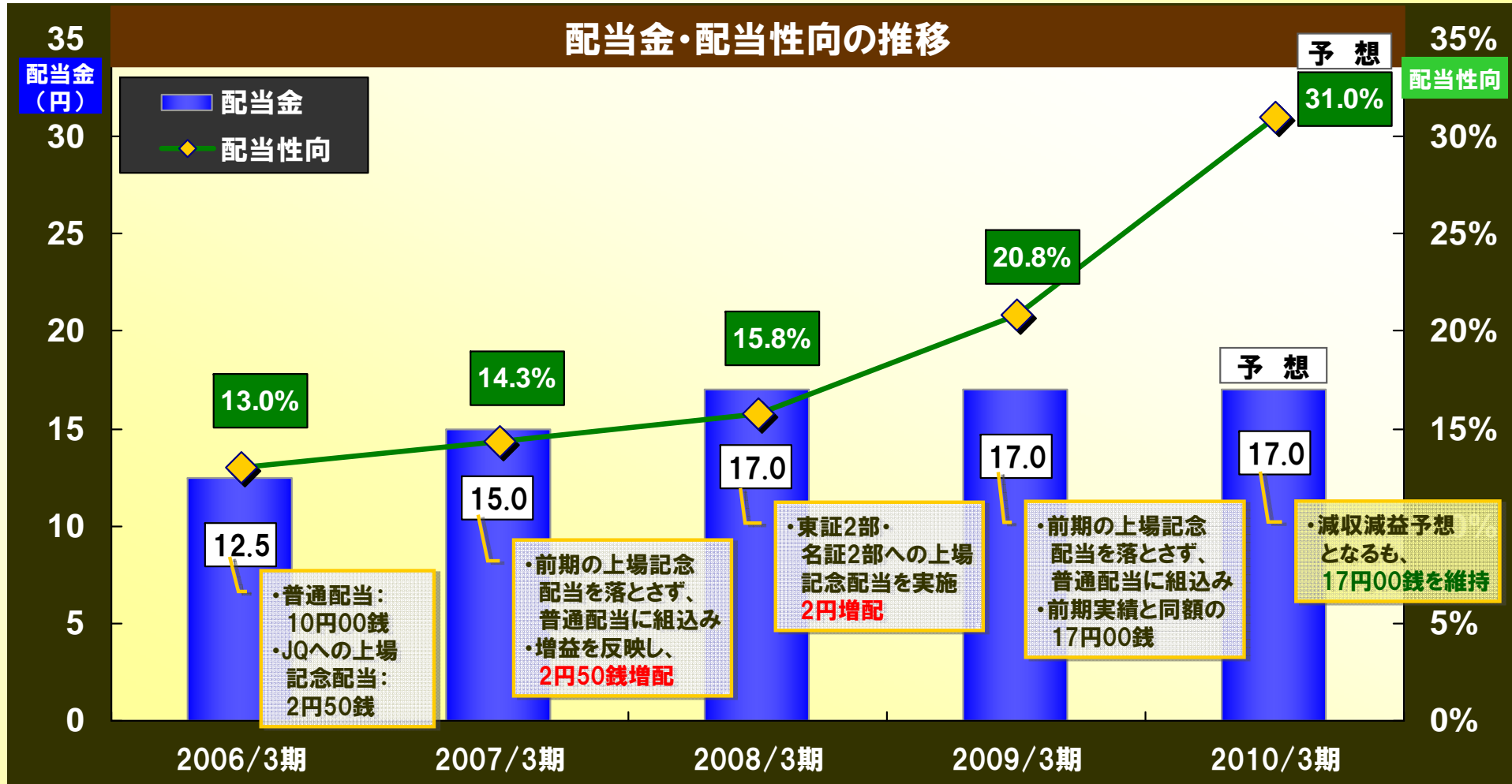
## 通期業績予想のポイント

■ 上期低迷するも、売上高、営業利益、経常利益の通期予想は、当初予想から変更なく、据置き。  
当期純利益のみ、下方修正済み(8月26日発表:THAI LECIPの工場閉鎖費用を特損計上)。

- ▶ 下期は、輸送機器事業で、主力のバス市場向け製品の納入が進むほか、S&D事業で、LED電源の拡大が見込まれることから、上期までの低迷をカバー。
  - 輸送機器事業では、バス用運賃箱の大口物件の納入や、OBCなどの拡販を見込む。
  - S&D事業では、LED電源が、省エネ法の改正も追い風となり、コンビニチェーン店のLED看板向けに続き、蛍光灯型LED灯具向けへの採用決定により、大きく拡大。

## 前年対比:減収減益予想

輸送機器	<p>【減少】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バス用ICカードシステムが、首都圏や福岡地区など大口物件の一巡に加え、納入の端境期となることなども影響し、減少。</li> <li>● バス用運賃箱や、OBCなどの拡販を見込み、マイナス要因の一部をカバー。</li> </ul>
S&D	<p>【増加(利益改善)】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ネオン変圧器は、需要の低迷、景気後退の影響により、減少。 ⇒不採算が続いていた、米国ネオン変圧器販売事業からの撤退、タイ国の生産子会社THAI LECIPの清算を決定するなど再編を進める。</li> <li>● LED電源が大きく拡大し、マイナス要因カバー。</li> </ul>
産業機器	<p>【減少】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 景気後退の影響により、バッテリー式フォークリフト用充電器などの電源機器や、連結子会社レシップ電子のプリント基板実装事業などが落ち込む。</li> </ul>



- 2010年3月期の配当予想は、引き続き、**17円を維持**
- **配当性向は、上昇傾向**
- **継続的かつ安定的な利益還元**に努める



- 1. 2010年3月期 上期業績の概要と、主な項目の進捗状況
- 2. 2010年3月期 通期業績の見通し・配当の状況
- ▶ 3. 中長期的な成長に向けた方向性

## ■ 【ご参考資料】

- 当社の会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期ごとの業績推移

## 今後の方向性

### 【当社の課題】

- ポストICカードシステム、● 国内市場成熟化
- ⇒ ICカードシステムに続く「新規基幹商品の育成」
- ⇒ 「海外市場開拓」

### 【産業界の課題】

- 省エネルギー・地球環境対応
- ⇒ 公共交通の利用促進
- ⇒ 環境対応製品の普及促進

### 【当社の経営理念】

「省エネルギー」・「地球環境対応」・「セキュリティ強化」を通じて、快適な日常を実現するための製品・サービスを社会に提供する。

## 「成長に向けて」

「リアルタイム乗客情報システムの推進」

「LED関連ビジネスの強化」

「海外市場開拓」

## リアルタイム乗客情報システムの推進

### ● バス車内で



### ● 駅やバスセンターで



バス車内に加え、  
屋外にも表示器を設置し、  
ネットワーク化

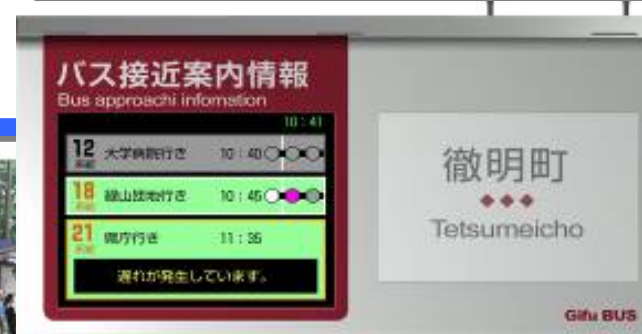
あらゆる情報を  
文字・イメージ・マルチ言語・音声で  
リアルタイム配信

- ▶ バス接近表示情報
- ▶ 乗換の案内
- ▶ 周辺施設の案内
- ▶ 遅延・運休情報
- ▶ ニュース・CM
- ▶ 緊急情報  
(事故、火災、地震、気象)
- ▶ 災害情報  
(避難指示、安全、消息情報)

### ● 病院等施設の待合室で



### ● バス停で



### ● 携帯電話で



## LED関連ビジネスの強化

### ■ 店舗・オフィス等の屋外看板・施設照明分野： 蛍光灯型LED灯具用電源

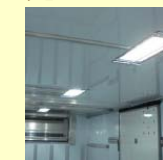


- 省エネ・環境対応も追い風となり、店舗やオフィスの照明に、  
蛍光灯型LED灯具の導入拡大  
⇒ 当社のLED電源の販売も大きく拡大
- 長年の屋外用電源で培われた樹脂充填技術により、  
優れた耐久性を実現
- 更なる拡販を図るべく、蛍光灯型LED灯具(社外調達)との、  
セット販売開始  
⇒ 電源と、灯具とのパッケージ化により、更なる販売促進

### ■ 車載照明分野： 車内・荷室内照明用LED灯具



- 長年、バス・鉄道・自動車用蛍光灯具の製造・販売を展開  
⇒ バス・トラック用蛍光灯具で、70%以上のシェアを獲得
- 車載用照明機器の分野でも、LED化が進む見通し
- 自動車用LED灯具を製品化し、販売開始
- 今後、バスや鉄道向けにも展開を図る  
⇒ これまでの車載用蛍光灯具での実績を活かし、拡販めざす



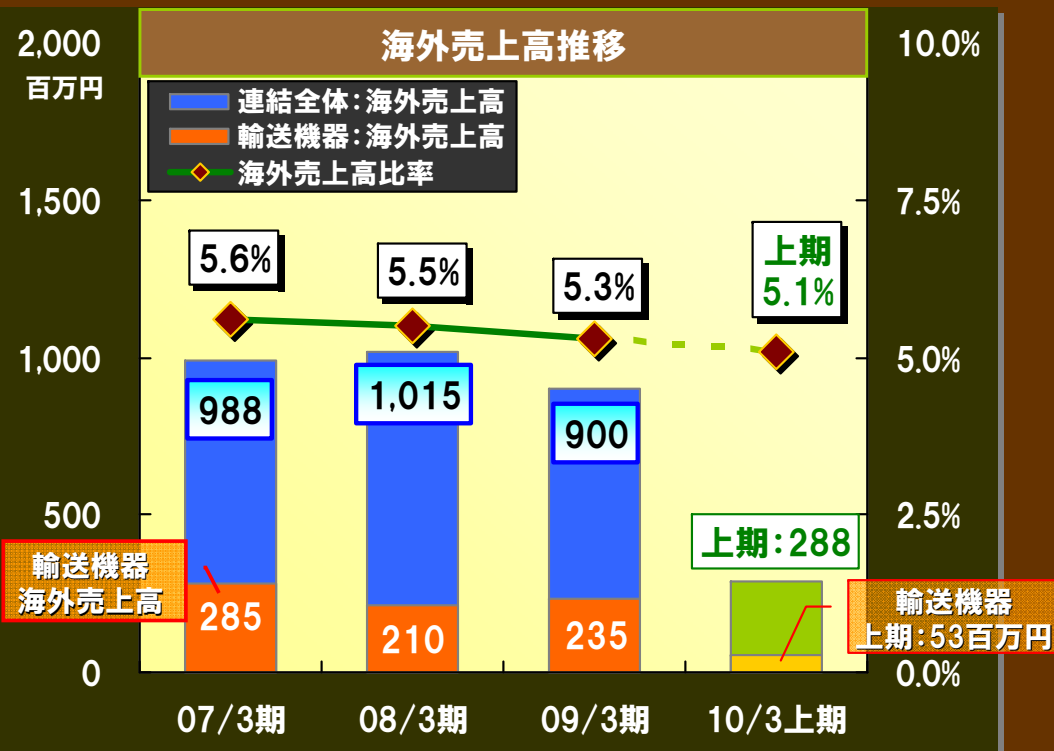
### ▶ 当社製品の強みは、優れた「耐久性」

～長年の、屋外、車載向け等、厳しい使用環境用途向けの製品開発を通じ、多くのノウハウを蓄積～

### ▶ 長寿命のLEDでは、製品の「耐久性」もポイント

### ▶ 当社の強みを活かし、LED関連ビジネスの強化を図る

## 海外市場開拓



- 中長期的な成長に向けて、主力の輸送機器事業で、海外市場開拓を推進
- 公共交通先進国であるシンガポールへの営業強化に加え、米国市場開拓
- バス市場向け製品と、鉄道車両用灯具との両輪で、拡販図る
  - ➡ 米国の公共交通系展示会に出展 現地バス事業者様への営業活動を展開中
  - ➡ 海外の鉄道車両受注を拡大している日本の車両メーカー様へアプローチ

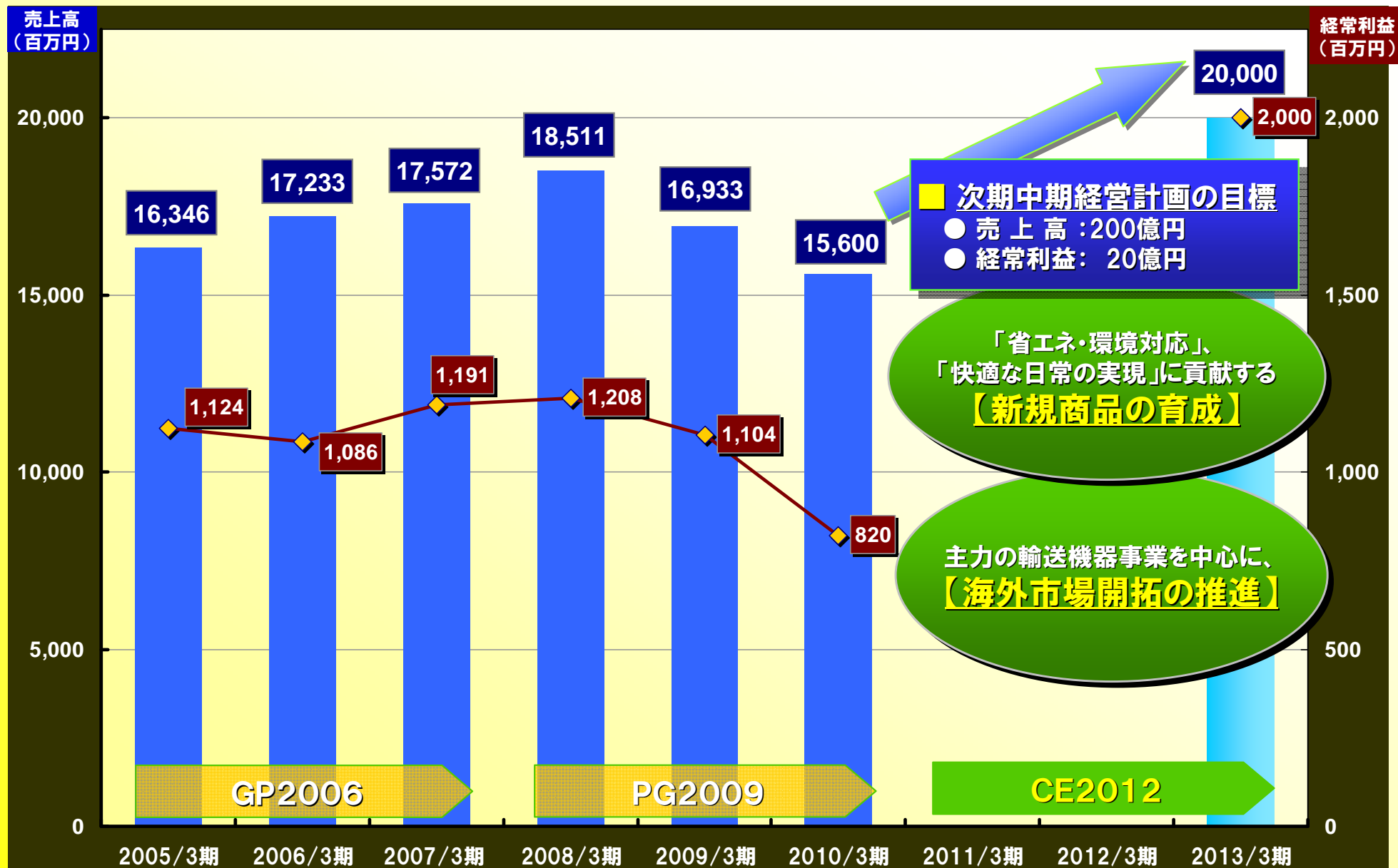
【 ■ これまでの主な納入実績 】

- シンガポール  
: 料金箱、発券機、表示器、バス総合運行管理システム
- マレーシア: 磁気カードシステム
- 香港: ICカードリーダー
- 中国: 鉄道用蛍光灯具 等々

▶ 今後、海外売上比率10%以上を目標に、海外市場開拓を進めていく。



## 売上高・経常利益の推移





1. 2010年3月期 上期業績の概要と、主な項目の進捗状況
2. 2010年3月期 通期業績の見通し・配当の状況
3. 中長期的な成長に向けた方向性

## ▶【ご参考資料】

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期ごとの業績推移

会社名	: レシップ株式会社 (LECIP CORPORATION)
設立	: 1953年3月
代表者	: 代表取締役社長執行役員 杉本 眞
本社所在地	: 岐阜県本巣市上保1260番地の2
連結従業員数	: 496名 (2009年9月末現在)
資本金	: 7億3,564万円
発行済株式総数	: 6,399,100株
上場証券取引所	: 東京証券取引所市場第2部、名古屋証券取引所市場第2部
証券コード	: 7213
連結子会社	: レシップ電子株式会社 : THAI LECIP CORPORATION LIMITED : LECIP U.S.A.,INC.
経営理念	: 「省エネルギー」・「地球環境対応」・「セキュリティ強化」を通じて、 快適な日常を実現するための製品・サービスを社会に提供する。

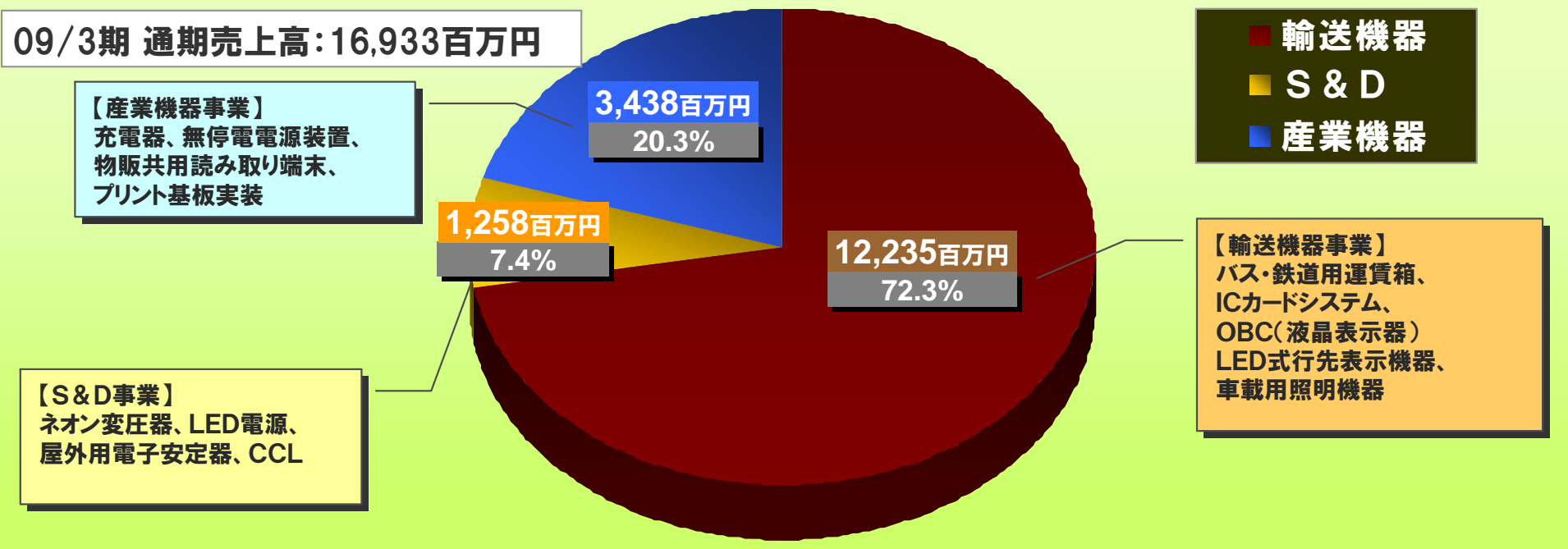
■ 輸送機器事業

■ S & D(サイン&ディスプレイ)事業

■ 産業機器事業

## 【ご参考】2009年3月期 通期の事業セグメント別売上高

09/3期 通期売上高:16,933百万円



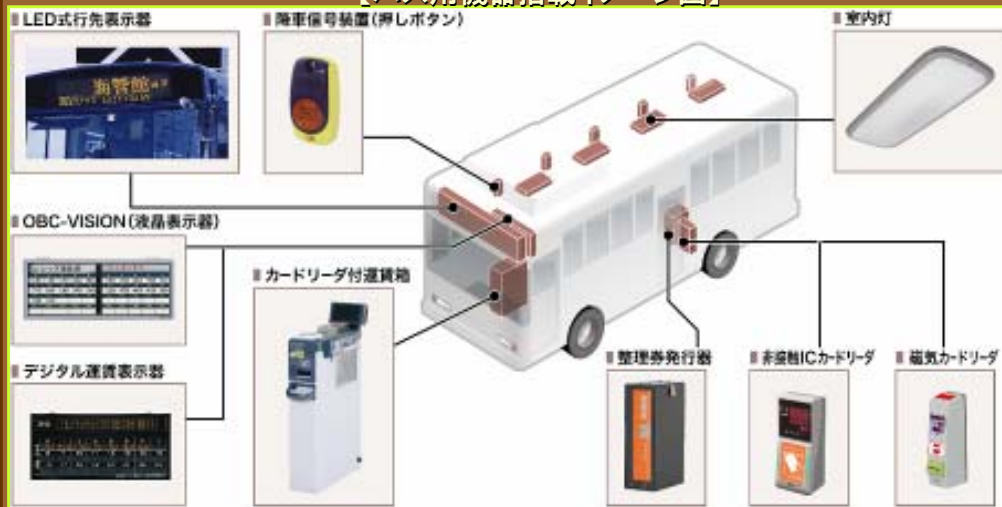
## 輸送機器事業

### ● バス市場向け製品



- 国内唯一の、「バス用電装機器トータルサプライヤー」ワンストップソリューションを実現
- バス用ICカードシステムのパイオニア
- 多くの製品で国内トップシェアを獲得

=====【バス用機器搭載イメージ図】=====



### ● 鉄道市場向け製品



- ワンマン鉄道用機器と、車両用灯具を展開
- 鉄道用運賃箱は、国内90%以上のシェアを獲得

### ● 自動車市場向け製品



- 自動車用蛍光灯具のパイオニア
- 国内70%以上のシェアを獲得
- LED灯具の拡販推進



## S & D事業



(巻線式) ネオン変圧器 (電子式)

LED電源



CCLのご採用事例 東京・銀座 横浜・みなとみらい CCL(Cold Cathode Lamp)

- 不採算が続いていた米国向けネオン変圧器から撤退
- LED電源の需要が急拡大。LED照明の普及が追い風
- 建築・施設照明向けライティングシステム・CCLを展開

## 産業機器事業



フォークリフト用充電器

物販共用読み取り端末

プリント基板実装ライン

- フォークリフト用充電器で国内トップシェアを獲得
- 複数規格の電子マネーに対応する物販共用読み取り端末の開発・製造
- 連結子会社 レシップ電子において、プリント基板実装事業を展開

# 【ご参考】：主な経営指標の推移

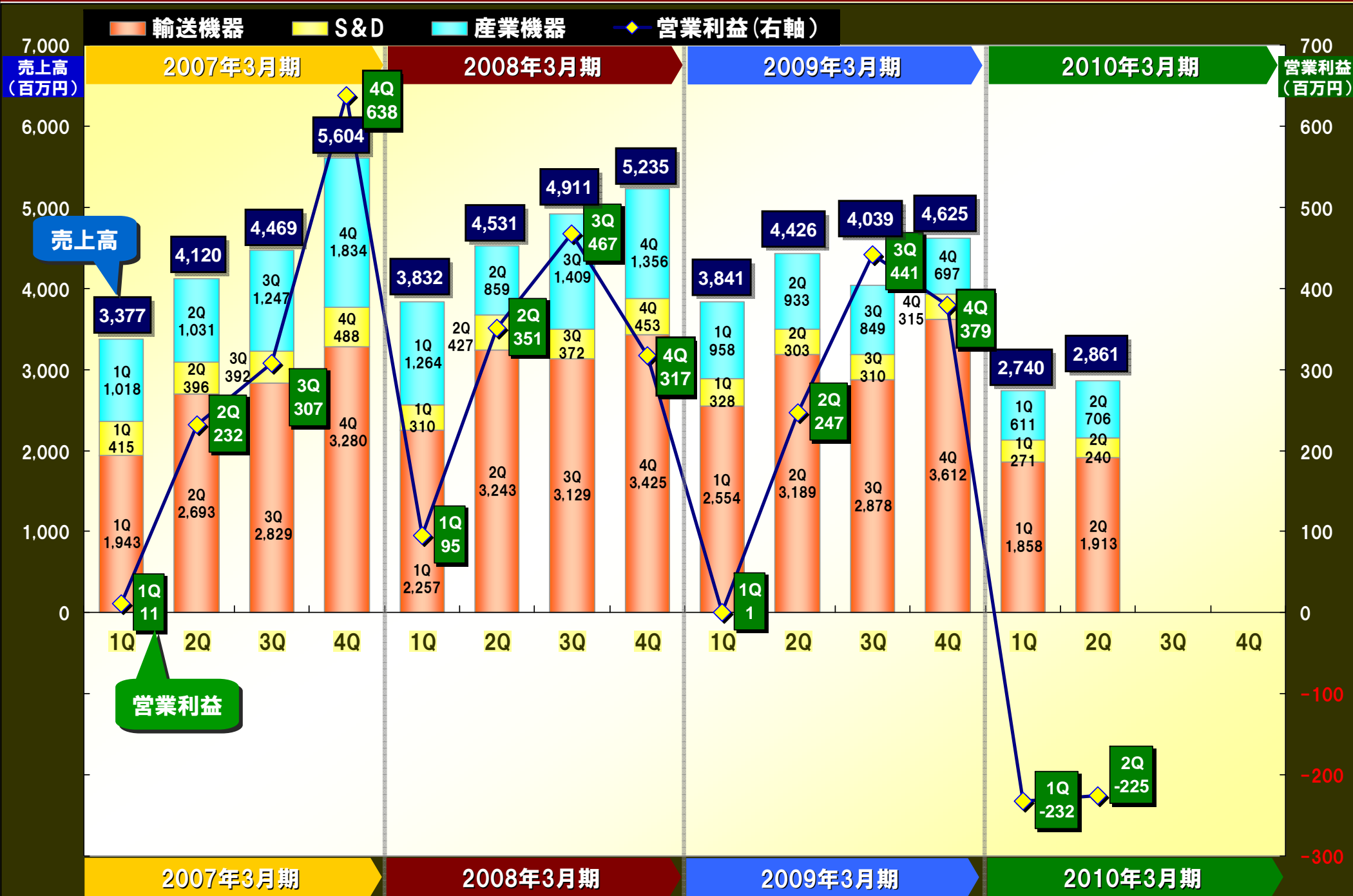
主な経営指標 の推移(単位:百万円)	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期 予想
売上高	15,717	16,346	17,233	17,572	18,511	16,933	15,600
営業利益	400	1,122	1,089	1,189	1,232	1,070	750
営業利益率(%)	2.5	6.9	6.3	6.8	6.7	6.3	4.8
経常利益	390	1,124	1,086	1,191	1,208	1,104	820
経常利益率(%)	2.5	6.9	6.3	6.8	6.5	6.5	5.3
当期純利益	▲100	654	622	668	686	521	350
当期純利益率(%)	▲0.6	4.0	3.6	3.8	3.7	3.1	2.2
総資産	10,267	10,529	10,512	11,533	11,470	10,417	—
純資産	1,888	2,519	3,895	4,408	4,995	5,339	—
自己資本比率(%)	18.4	23.9	37.1	38.2	43.5	51.2	—
EPS(円)	▲18.05	107.70	96.29	104.68	107.38	81.61	54.77
ROE(%)	—	29.7	19.4	16.1	14.6	10.1	—
BPS(円)	338.36	441.66	599.65	689.82	781.66	835.49	—

※2004年3月期につきましては、退職給付制度改革を実施し、確定拠出年金制度への全面移行に伴い、退職給付制度変更損失397百万円を計上したため、当期純損失となっております。

# 【ご参考】：上期・下期別の業績推移



# 【ご参考】：四半期ごとの業績推移





# LECIP

## レシップ株式会社

### 【資料お問合せ先】

IR担当役員：取締役常務執行役員

管理本部長 山口 芳典

電話番号：(058)323-7647

IR担当者：総務部兼経営管理部 野村 武史

電話番号：(058)324-3121

### 【将来予測について】

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。